

第 88 回化学コロキウム/IAGEPC コロキウムのご案内

日時：平成 18 年 10 月 31 日 (火) 午後 4:30～6:30

場所：8号館 302号室

演者：藤井修治氏 (長岡技術科学大学)

演題：マルチラメラベシクル相の粘弾性挙動とそのサイズ効果

要旨：ソフトマターの粘弾性挙動はそのメソスコピックな大きさの内部構造に依存するため、構造転移の際に劇的な変化を示す。流動下で観測される二分子膜系の構造転移はその代表的な例であり、その一つにラメラ・マルチラメラベシクル転移がある。しかし、実はこの構造転移がずり速度・応力だけではなく、空間サイズ効果によっても影響されることはあまり意識されていない。ここでは、このマルチラメラベシクル相に着目し、その構造が空間サイズ効果によって決まることを粘弾性関数の測定から検討する。また、空間サイズ効果のために生じるマルチラメラベシクルの異常な成長過程についても紹介する。

連絡先：首都大学東京 理工学研究科 分子物質化学専攻 好村滋行 (内 3455)
komura@comp.metro-u.ac.jp